

避難所開設・運営訓練



主催 雄郡地区自主防災連合会

日時 令和7年11月16日(日曜日) 8時30分～
(避難所開設運営の人)
9時(その他の人)～12時

場所 松山市立双葉小学校



令和8年7月4日(土)

自主防災組織ネットワーク会議分科会事例発表

雄郡地区自主防災連合会

I. 防災訓練について(双葉小学校：令和7年11月16日)

1. 今回の防災訓練の目的

自主防災組織のリーダー等は、災害発生時には率先して、迅速かつ適切な行動を取ることが求められる

(1)人命の安全確保と被害の軽減

(2)防災意識の向上と定着

(3)防災計画の実効性検証と改善

2. 自分たちの命は、自分たちで守る

公助だけでは限界、自助・共助が大変重要

3. 雄郡地区の特性

南海トラフ地震発生確率(30年以内)・・・60～90%程度

雄郡地区「震度6強」想定

地盤の液状化危険度が極めて高い

木造家屋等の倒壊、火災の発生が懸念される

Ⅱ. 双葉小学校避難所開設・運営訓練

開催日時：令和7年11月16日(日) 8:30～12:00

開催場所：双葉小学校(体育館、校舎、グラウンド)

参加者：避難所運営委員、自治会関係者、雄郡地区消防団
公民館関係者、女性防火クラブ、市関係者等 約160名



1. 災害等想定

令和7年11月16日(日) 午前8時 大規模地震発生

ライフラインの停止(ガス、水道)、市担当者、施設管理者不在

2. 無線訓練

自主防災連合会長から避難所運営委員へ無線連絡

雄郡防災本部(雄郡公民館内)との無線交信

双葉小学校内部での無線交信



3. 避難所開設・運営訓練

① 双葉小学校に避難集合

避難所運営委員(市担当者、施設管理者不在)



② 避難所校門開錠

正門、その他の門の開錠

③ 体育館の安全確認

避難所の安全点検(建物、建物設備)

災害対策本部の設置



④ 避難所施設内の開錠

校舎

⑤ 避難所開設訓練の開始

体育館スペース設定

校舎内スペース設定



屋外スペース設定



⑥ 避難所受付訓練の開始

事前受付

総合受付



リアルHUGを実施(20名位)



⑦ 松山市体験訓練の開始

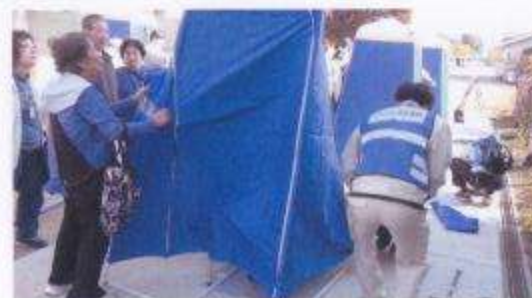
段ボールベッド等組立訓練



応急給水栓訓練



マンホールトイレ組立訓練



⑧ 食料配給訓練



本日の避難者情報等の内容発表
(パソコンデータ処理)



⑨ 講評

松山市危機管理課

松山中央消防署

閉会



Ⅲ. 避難所開設・運営訓練の課題および問題点

1. 避難所運営委員の編成

2カ所の避難所(双葉小学校、たちばな小学校)

人材不足であり、一般住民の中から適任者選定が急務

2. リアルHUG訓練

限られたスペースや人員で経験不足もあり、スムーズな誘導が出来なかった

3. トイレ対策

災害発生後3時間以内に40%の人がトイレを使用

まず第一に、安心して利用できるトイレの環境づくりの大切さ

4. 避難者名簿のパソコンデータ処理

安否確認の問い合わせ対策として、瞬時に検索結果がわかるようなパソコンデータ処理(今回初めて)

5. 今後について

防災訓練のマンネリ化防止

幅広い年齢層の一般住民が興味をもって参加して楽しめる訓練

避難所運営委員の人材不足対策

地元行事等の参加者から熱意と行動力のある人物を選ぶ